

# 支え合い 未来につなげる おくり物

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するため「社会福祉法」に位置づけられ、毎年10月1日から12月31日までの間、全国一斉に展開されています。

この募金は、市内の全小・中学校での児童・生徒への福祉教育などの取り組みや各地域の福祉、障がい児・者への福祉事業に使われています。今年もみなさんのご理解とご協力をお願いします。



## 社協だより

202号

令和4年10月1日

発行  
社会福祉法人  
宗像市社会福祉協議会  
〒811-3437 宗像市久原180  
メイトム宗像2階  
TEL 0940-37-1300

宗像市社会福祉協議会



福祉に関する情報をお届け！  
フォローお願いします。

### 赤い羽根共同募金運動はじまる

10月1日～12月31日

#### たすけあいの心

日本で共同募金運動が始まり、今年で76年目になります。この間、社会経済状況も急激な変化をみせ、人々の生活や意識も変わってきました。また前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防による影響により、さまざまな活動が制限されています。このような時でも人々がともに生きていこうという「たすけあい」の心は変わらせずに、人々の幸せを願って、今年も共同募金運動が始まります。

**令和3年度の募金実績額は、1098万4094円**  
自治会や町内会など地域住民のみなさんの協力を得



て各世帯にお願いする「戸別募金」をはじめ、市役所、学校、福祉団体を対象にクオカードなどの資料を活用する職域募金、学校や病院、公共施設、事業所などでの募金箱による募金などいろいろな方法でお願いしています。

令和3年度、みなさんのご協力で1098万4094円の募金が集まりました。ありがとうございます。

#### 令和3年度募金の使いみち

昨年度に市内で集まった募金は、全て福岡県共同募金会へ送金し、配分委員会などの審査の後、市社会福祉協議会を含む各申請団体などに配分されました。昨年度に集まった募金は「令和3年度共同募金の使いみち(表1)」のように有効に活用されています。共同募金は、募金をした地域で生きる寄付金です。

#### 令和4年度募金目標額

共同募金は、募金が集まってから使いみちを決める募金ではありません。事前に地域福祉のための使いみちの計画を立てま

す。この使いみちの計画に必要な額が「目標額」になります。

今年度の目標額は、昨年度実績と同額の1098万4094円です。今後も安定、継続して地域福祉事業を行うための「目標額」です。

#### 一世帯700円の目安額

市全体の目標額を達成するために、「一世帯ではどれだけの金額を協力したらいいのか」ということが分かりにくいいため、「一世帯700円を目安に協力していただく」と、計画されている事業が実施できます」と目安額をお知らせすることにしていきます。

これは、募金目標額を達成するためにお願いする「目安」ですので、みなさんのできる範囲内のご協力をお願いします。

#### 多くの人に支えられている共同募金

「共同募金実績額内訳(表2)」をみると、戸別募金(各世帯からの募金)が共同募金全体の約9割を占め、市内の多くの世帯からの募金に支えられています。また、地域のいろいろな

域をつくっていく原動力となります。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

#### 災害等準備金の積み立て

県共同募金会では毎年、県内のための災害等準備金を積み立てています。近年は災害も多く発生し、災害ボランティアセンターが開設される機会も増えています。この際に、災害等準備金が活用され、災害ボランティアセンターの運営を支えました。毎年、みなさんからご協力いただいている赤い羽根共同募金が災害ボランティア活動も支えています。



場面、自治会長や隣組長、事業所や公共施設、福祉団体、学校の先生や児童、生徒のみなさんからの多くの支えで成り立っています。ひとりひとりのたすけあいの心が、地域福祉活動に活用され、より住みよい地

### 令和3年度共同募金の主な使いみち (表1)

昨年度集まった、みなさんからの募金は下記のような活動に活用されています。赤い羽根共同募金は、みなさまのあたたかな気持ちを、具体的な活動につなげていく、「じぶんの町を良くするしくみ」です。これからもご理解とご協力をお願いいたします。



項目	金額
<b>高齢者の福祉に</b> ●在宅介護者家族の会の支援 ●シニアクラブ連合会への助成金 ●配食サービスボランティアの支援	840,000円
<b>障がい児・者の福祉に</b> ●身体障害者福祉協会の支援 ●あじさいの会への助成金 ●手話講習会への助成金 ●あゆみの会への助成金 ●声の広報配布事業の支援 ●要約筆記ボランティアの支援 ●おもちゃ図書館運営の支援 ●宗像コスモス会への助成金	1,717,000円
<b>ボランティア活動に</b> ●福祉ボランティア活動連絡協議会活動の支援 ●大島地区ボランティア団体への助成金	534,000円
<b>福祉会活動の支援に</b> ●地域住民の自主的な地域福祉活動 ●民生委員児童委員協議会への助成金	2,927,000円
<b>児童・青少年の福祉に</b> ●市内幼稚園、保育園、小中学校、高校への福祉教育推進事業 ●小学校での車いす体験や手話体験などの福祉教育事業	236,500円
<b>子育て支援活動に</b> ●地域福祉文庫連絡協議会の支援 ●NPO法人むなかた子育てネットワークこねっとへの助成金 ●母子寡婦福祉会の支援	455,000円

その他、県内の福祉施設への支援、災害ボランティア活動、福祉に関する情報提供や啓発活動などに活用されています。

### 令和3年度共同募金実績内訳表 (表2)

個人募金など	126,146円
自動販売機を活用した募金など	266,805円
バッジなど購入による募金	676,868円

各世帯からの募金  
9,627,727円

募金箱(学校)	104,500円
募金箱(学校除く)	100,378円
街頭募金	81,670円



赤い羽根共同募金配分団体紹介

生まれてきてよかったと言ってもらいたい

宗像市あゆみの会 会長 瓜生寿賀子さん

「宗像市あゆみの会」は、宗像市に在住の心身障がい児・者の親の会です。50年以上の歴史のある会であり、共同募金の配分金を活用し、研修会、施設見学、親子交流のクリスマス会等を実施しています。

特に親の交流の場として定期的に行っているサロン活動においては、日頃の子どもに関することや医療を必要とする子どもたちの親の悩みなどを話し合い、支え合い、最善の答えを出し合います。

これまでも活動し、続けられたのも赤い羽根共同募金の配分金のおかげです。一人では倒れそうになる親の心を元気にしてもらえる当会です。今後も重い障がいであっても私たちは頑張り続けます。



素敵な刺繍のふきんが出来ました！

サロン活動にてふきん作成中！



第1回ピアサポート事業報告

7月31日、スポーツ推進委員会の協力のもと、自由ヶ丘地区コミュニティ・センターで『ポッチャ大会』をしました。

ポッチャとは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青6球ずつのボールを投げたり、転がしたりして、いかに近づけるかを競うスポーツです。狙いをさだめて投げたボールの行方を見つめ、勝敗が決まると喜んだり悔しがったりと参加者のさまざまな表情がとて印象的でした。

再チャレンジ！ポッチャ大会



狙いをさだめて投球する様子

障害者虐待防止研修会

児童虐待の発見と通告に関する福祉関係者の義務と役割 ～性的虐待の事例を中心に～

7月12日(火)、メイトム宗像にて宗像市障害者自立支援協議会生活部会と共催で、児童虐待防止ならびに早期発見、適切な援助につなげることを目的に研修会を実施しました。市内の障害児通所支援事業所と相談支援専門員など67人が参加しました。

福岡県宗像児童相談所相談第一課初動対応係の東郷係長を迎え、虐待に気づいたときの支援者の対応の仕方について、わかりやすく説明していただきました。

参加者からは「支援者としてしっかり子どもに向き合っていきたい」や「性的虐待に気づいたら子どもが話した言葉を正確に記録し、そして早急に通報することが大切だとわかった」などの感想が寄せられました。



説明を熱心に聞く参加者



クリスマスリース作り体験

第2回ピアサポート事業

参加者募集のお知らせ

同センターでは、障がいのある人やピアサポーター(障がいのある当事者・家族の相談員)が一緒に活動をするピアサポート事業を開催し

土・日曜日、祝日を除く 午前8時30分～午後5時 (34)2411 (34)2422 メールアドレス aw09180@hkg.odn.ne.jp

障害者生活支援センター

(宗像市役所北館1F)

ています。今回は、リースベースを使って好みのオーナメントや造花などを飾り付けてクリスマスリースを作ります。障がいのある人で、レクリエーション活動を通じて仲間づくりをしたい人の参加を待っています。もちろん初めての参加も大歓迎です！

- 日時 11月13日(日) 午前10時受付～午後12時解散予定
● 場所 河東地区コミュニティ・センター・大会議室A、B
● 対象 障がいのある人
● 定員 20人程度
● 参加費 600円
● 持参品 はさみ
● 申込期間 10月31日(月)まで
● 問い合わせ先 同センター
☎ (34) 2411 ファックス (34) 2422
※コロナウイルス感染症拡大状況によっては延期もしくは中止する場合があります。

参加者募集

在宅介護者「泊」リフレッシュセミナー

市内在住で、在宅で介護をしている方を対象に「在宅介護者一泊リフレッシュセミナー」を開催します。このセミナーは、在宅で介護している人の「心」と「からだ」のリフレッシュを目的に実施しています。

● 主催 市、市社会福祉協議会

- 日程 11月15日(火)～16日(水)
● 対象 市内在住で、在宅で介護している人
● 行先 唐津・嬉野方面(予定)
● 参加費 7000円
● 募集人員 25人(応募多数の場合は抽選)
● 申込方法 10月31日(月)までに市社会福祉協議会あてに氏名・住所・連絡先・介護をしている人を電話またはファックスで申し込む。

ご寄付ありがとうございます

- 【香典返し(敬称略)】
(故)森内友幸(池田)
(故)水上善夫(野坂)
(故)白木照代(自由ヶ丘)
(故)井上幸代(深田)
(故)大和登(村山田)
(故)若松榮子(三郎丸)
(故)小樋喜成(大島)
(故)柴垣稔(神湊)
(故)角釋瑞江(田熊)
(故)権田暢男(東郷)
花田廣子(鐘崎)
(令和4年8月31日受付分まで)
市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。振込や現金書留等でも受け付けができますので、お問い合わせください。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願いたします。

社協だよりは、偶数月の1日発行です。(年間6回)

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地 メイトム宗像内 ☎ (37) 13000
大島支所 宗像市大島1809番地32ふれ愛センター内 ☎ (72) 2294
ホームページ http://syakyo.munakata.com/
メール info@syakyo.munakata.com

本会は、むななたタウンプレスを音こし届ける「声の広報」活動を実施しています